



The Star in the West

東京西ワイズメンズクラブ会報

THE SERVICE CLUB FOR THE YMCA

THEY'S MEN'S CLUB OF TOKYO-NISHI(03)3202-0342

c/o TOKYO YMCA YAMATE CENTER, 2-18-12 NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO 169-0051, JAPAN

国際会長主題 「価値観、エクステンション、リーダーシップ」
 アジア会長主題 「変化をもたらそう」
 東日本区理事主題 「変化を楽しもう！」
 あずさ部部長主題 「変わるに挑戦！」
 東京西クラブ会長主題 「変化を恐れず、少しずつ」

2020年9月号

NO 528

主を畏れることは知恵の初め。無知なものは知恵をも諭しをも侮る。

旧約聖書箴言 1章7節

STEP YEEP運動と世界平和 神谷幸男

トンボやセミの姿を求めて



今月の強調テーマは「ユース」。STEP、YEEP プログラムはユース活動の中でも重要なプログラムでしょう。このプログラムに参加した人およびそのご家庭は、意義深い豊かなご経験を得られたことと思います。

YEEPプログラムに参加したかつての少年少女が今は立派に成長して社会に大きく貢献していると思われまふ。今のその人たちのお話しも聴きたいとは思っています。私は残念ながら、STEP も YEEP の子どもたちも送り出した経験がありません。

僅かに、かつて YMCA のプログラムで米国在住のスー族 (アメリカインディアンの一部族) の 16 歳の体格の大きな男の子を一晚だけ我が家で引き受けたことがありました。プログラムの関係で、団体で夕食を摂った後、我が家へ連れ帰り、片言ながら会話しようと思いましたが、彼曰く兎に角

眠いので直ぐ休ませて欲しいと、我が家に着くや否やシャワーも浴びずにベッドイン、翌朝も集合時間ギリギリまで寝ていて、朝食のパンをかじったまま、集合場所の山手センターへ送り届けるといった慌ただしさで、彼との交流は皆無。往復の同行の時でさえ彼は無口で、彼の名前は「ボブ」の他、なにをやっているのか、将来どんなことをしたいのか意志疎通は殆どありませんでした。(原因は当方にあつたのですが) 全く不消化ではありましたが、よい体験ではありました。

このような素晴らしいプログラムも世界が平和であつてこそ成り立つことです。我々は平和を希求し、「平和を創り出す」側の人としての人生を送りたいものです。

コロナと酷暑に閉じ込められて1ヶ月、とうとう我慢ができずに高原へと足を運んだ。三密を避けなければいいだろうとばかり公共の乗りものを使わず人の少ない所へと赴いた。そこは標高 1000m位、ちょっと標高には物足りなさを覚えながらも赤や黄色の花も咲き乱れており、早やコスモスも咲いているし、芝生の広場の周辺は林があるし風通しのよさそうな木陰もある。日差しは強いが爽やかな風に吹かれながら花壇や鴨の泳ぐ池の周りを散策し、東屋や風通しのよい木陰のベンチで高原の風を楽しんだ。芝生の緑、花々、遠くの間々を見ながらしばし高原の涼しさを堪能した。先ずは極めて爽快であった。(神谷幸男)

クラブ役

会長 篠原 文恵
 副会長 大野 貞次
 書記 本川 悦子
 会計 石井 元子
 担当主事 横山 弥利

8月の記録		ニコニコ	4,785 円
在籍者数 12人 (内功労会員) 1人	メネット 1人	クラブファンド(当月)	— 円
出席者数 9人	コメント 一人	クラブファンド(残高)	165,358 円
メーキャップ 1人	ビジター 一人	ホテ校ファンド(当月)	4,806 円
出席率 91%	ゲスト 一人	ホテ校ファンド(残高)	68,272 円
前月修正 —	出席者合計 10人	WHO 参加者	一人

9月例会のご案内

今月の強調テーマ
ユース(STEP, YEPP, YIA)

日時：9月17日(木)
18:45~21:00

会場：ウエルファーム杉並4F 集会室
杉並区天沼3-19-16
03-5335-7318

会費：1,500円(メンバー以外)
担当：C班(石井、神谷、河原崎、横山)

留学生 レ・タン・ハーさん(ベトナム)
ニン・テツテットオさん(ミャンマー)

HAPPY BIRTHDAY

15日 村野 繁 23日 本川 悦子
25日 高嶋 君弘

受付 神谷 幸男
司会 石井 元子
開会点鐘 会長 篠原 文恵
いざたて 一 同
聖句朗読・祈祷 神谷 幸男
挨拶・紹介 篠原 文恵
あずさ部部長挨拶 御園生好子さん
私費留学生奨学金贈呈式

会長 篠原 文恵
一 同
会食
卓話『『フードバンク』に期待されていること』
NPO法人フードバンクネット
西埼玉理事・丸茂真依子さん

ハッピーバースデー
諸報告 会長 他
YMCA 報告 主事・横山弥利
ニコニコ 一 同
閉会点鐘 会長 篠原 文恵



上はクラブ役員として宣誓する新四役
下は入会宣誓する新主事・横山弥利さん

— 8月例会報告 —

8月20日(木)18:45~21:00
会場：ウエルファーム杉並で開催された半年ぶりの例会は、大きな部屋を二つ繋げ、椅子は2人置きに、皆マスクをつけて着席。今季最初の例会でした。

大切な新役員就任式は神谷幸男氏の司式で滞りなく行われま

した。

また、新担当主事の横山弥利さんの入会式が執り行われました。高年齢者が多い当クラブですが、本年度も新役員を中心に、元気で活動を続けてまいります。皆で顔を合わせて、お話しが出来ることは、本当にすばらしい事なのだ、実感できた例会でした。

出席者：石井、大野、神谷、河原崎、篠原、鳥越、本川、村野、横山、神谷 M、<MU> 吉田(東京世田谷9月例会)
(神谷幸男)

— 8月事務会報告 —

日時：8月27日(木)16:00~
場所：ウエルファーム杉並
出席者：石井、大野、神谷、河原崎、篠原、鳥越、本川、村野、吉田
<2019-2020年度東京西クラブ総会>

- ①6月に郵送で送付済みの議案を承認した。
- ②高嶋会計担当からの決算報告を承認した。
- ③昨年度ホテル学校生への奨学

卓話者紹介

丸茂真依子さん

1990年生まれ。山梨で生活する中で「フードバンク山梨」の活動を知り、関心を持つ。2018年から事務局としてフードバンクネット西埼玉の活動に参加。2020年度より事務局担当理事。

金贈呈不足額をクラブファン
ドから補うことを了承した。

- ④本年度予算額は9月事務会で再検討する。
- ⑤事務会の時間を16:00-18:00に変更する。

<確認事項>

- ①会計報告を承認した。

<協議事項・例会>

▼10月例会：

「高齢者によくわかるIT講座」
卓話：渡辺大輔さん(東京武蔵野多摩クラブ会長)

卓話者の都合で例会期日を10月22日(木)に変更し、事務会はその前後の時間に行う。

<協議事項・例会以外>

- ①各種献金は昨年度と同額を送金する。(書記・本川悦子)

★☆☆インタビュー★84★ 功刀 弘さんに聴く

甲府21クラブ



—功刀さんの入会は何年ですか。

「1990年の甲府21クラブの国際加盟の時です。初代会長を務めさせていただきました」

—甲府には、古豪・甲府クラブがありましたから、ワイズメンズクラブについては、入会前に十分予備知識を持っておられたのでしょうか。

「私が中学1年(1950年)の時に甲府教会小野善太郎牧師から洗礼を受けましたので教会員で甲府クラブの会員の布能壽英さんや大澤英二さんとは親しい交わりがありました。YMCAとは深い関係はありませんでしたが、甲府21クラブの発足時に家内がYMCAの非常勤職員として大変お世話になっていました。1991年にクリニック開業を控え、そのお世話になっていた布能さんの強い勧めにワイズのワの字も知らずに入会して名だけの会長になってしまいました」
—甲府21と言うクラブ名に托した想いは。

「21世紀を迎えるにあたり素晴らしい名前を頂いたと今になってとても感謝しています」

—功刀さんは、甲府生まれ、甲府育ちですか。

「父が中国東北部で国策会社・満鉄に勤めていたので1947年(小学4年生)の7月まで旧満州育ちです。生まれは、母方の祖父母が甲府市内で開業医でしたので、里帰り出産で甲府生まれです」

—子どもの頃は、どんな子でした。

「私はまともなつもりでしたが、中学生の頃には、頭がおかしいの

ではないかと思われていたようです。そのことで私をいじめたなどとの思い出話が中学のクラス会で話題になったこともありました。今の私にとって素晴らしい偏見であったと感慨深いものがあります」

—中学、高校ではクラブ活動は。

「中学高校とテニスをしていましたが落ちこぼれでした。大学に入り囲碁を覚えてからそれが一番の趣味で、今でもNHKの囲碁番組は欠かさず見えています。私の一番のストレス解消です」

—精神科医になりたいとの想いは、いつ頃からですか。

「中学の時の影響はないと思いますが、私に一番合った仕事です。統合失調症患者と55年の交わりがあります。この病気の治療を続けている方は認知症にならないことを発見して近日中に『良い眠りが認知症を予防する～精神科医が55年目に気づいたことから～』を出版する準備をしています。出版社は売れないから自費出版にしたらと言われていました。私はこの病気の患者さんたちの治療継続の励みになり、健常者と思っても70代前後から認知症になりそうな方々への予防にもなると思うので大いに売れると思っています。やはり少しおかしいのでしょうか？ これまで同様にワイズの応援を期待しています」

—医師免許を取られて、甲府で開業されるまでは。

「今度出す本に詳しく書いていますのでお楽しみに」

—心の病にも時代の流れがあるのですか。

「今一番の問題はうつ病でしょう。これがすべての、もちろん認知症も含めて病気の元と言えます。新型コロナ感染症への免疫力とも関係があります。新型うつ病とかうつ病は心のかぜとか言われますが、本当のうつ病の怖さとその用心を十分に啓蒙していかなければならないでしょう」

—外国人患者の対応もされているのですね。

「工場で日系ブラジル人などが働いている頃は何人来られました。不景気で帰国したのでしょうか、この頃はほとんど見られなくなりました。」

—功刀さん自身は、毎晩9時に就眠されるそうですね。

「9時過ぎから10時前には眠ります。朝は5時前後に目が覚めて自然に起床します」

—山梨いのちの電話にも長く関わっておられますね。

「精神科医として、うつ病の専門医として、2000年の発足時から現在も関わっていますが、理事長は4年間で終了させてもらいました。この間もワイズの方々のご支援をいただき感謝しています」

—今年秋には、甲府21クラブは40周年を迎えられます。どんなお気持ちですか。

「何も知らずに諸先輩の勧めで入会しました。30年間のワイズへの貢献はわずかで申し訳ありません」

—ご自身、ワイズに加わって良かったと思われることは。

「仕事の中では得られない多くの健常者の活動からの学びを得ることができ、それがまた仕事に生かせる幸せを感じています」

—ワイズの良さは、どんなところに感じられておられますか。

「私もその一人ですが、このクラブに参加して奉仕活動をしているつもりでも結果的には多くの恵みを与えられてきました」

—最後に、座右の銘というか、勝負どころで浮かぶ言葉は。

「聖書の言葉『そればかりでなく、苦難をも誇りとします。わたしたちは知っているのです。苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生むということ』。(聖書・ローマの信徒への手紙5章3節)です」

—有難うございました。

(吉田明弘)

私の大切な物⑨

村野絢子

教会バザーの手芸品

どこに行っても手作りのものに目が行く。40数年前、教会でバザーを始めた頃、Sさん(大正13年女学校卒業)がいらした。彼女はいつも頭に次の作品は何を作ろうか、これと決めると、じっくり観察し、材料と作り方を自分で考えて揃え、30個から50個の作品を毎年出してくださった。Sさんのコーナーに何が並ぶのか楽しみであった。今も鶏、大・小の毛糸の人形、毛糸のしっぽを引っ張るとメジャーになる、毛糸のたてがみを持つ布製の馬は秀逸で、なかなか真似できるものではない。「Sさんの箱」に大切にしている。作った一部は「仙台の友人の教会のバザーにも送っているのよ」と楽しそうに話されていた、Oさん(若くし難病を抱えた方)は、今までに、毛糸の人形、刺繍入り聖書カバー、パッチワークの小物入れ、毛糸の室内履きなど、欲しくても持ち場を離れられずに手に入れることが出来なかった。

人気のエプロンはUさん(女子大出の才女)の刺繍入り、Hさん(デザイナーH夫人)、Nさん(元教員)のきれいなミシン縫い、Mさん(教

員夫人)のタオル地のサークルエプロン、新しくはKさん(手芸コーナー中心の人)のデコパージュのエプロンと次々に新製品が並んだ。

バザーとは別にクリスマス手作り市をアドベントに開く。

これには生のリースの他、毎年山下牧師の協力も得て、クリスマスを楽しく迎えようと工夫を凝らす。年々作り手も減り、100円ショップにも可愛いものが沢山並ぶ今、教会のバザーは何時まで続けられるか。コロナで、中止の中、実用的でひと味違う小物は何か考え続けるおばさんなのである。



YMCA Today

■国際ホテル専門学校では、例年よりも少し短い夏休みですが、学校説明会に加え体験入学(模擬授業)を開催いたしました。未来のホテルエプロンを目指すたくさんの高校生が参加され、そこには毎回在校生がボランティアとしてお手伝いしています。彼らの想いや実体験の話をつなげに彼らの魅力に気づき、つながりが生まれます。高校生のとくに憧れた在校生になった今、今度は先輩に追い付け追い越せと成長し、そして、また在校生が憧れの存在に…そんなサイクルが生まれ、在校生の成長の場にもなっています。

■障がい児支援を目的とした東京YMCAインターナショナル・チャリティーラン。34回目となる今年は新型コロナウイルス禍のため例年とは異なるスタイルでの開催となります。例年の駅伝方式ではなく、スマホ用歩数計ア

プリを使用し、9日間の期間中、自由に歩きチームの平均歩数で競うウォーキング大会へと変更になりました。10月24日(土)～11月1日(日)に行う今年のチャリティーランは走らずに歩きます!ぜひ応援してください。

■第22回愛恵エッセイ募集のお知らせ。「新型コロナウイルスって何?」豊かな福祉社会を作るためにあなたの考えや思いをお聞かせください。1600～2000字。応募締め切りは11月13日(金)。受賞者は愛恵福祉支援財団のホームページにて発表(1月下旬予定)、作品は「2020年度エッセイ集」に掲載されます。詳しくは東京YMCA会員部内「エッセイ募集係」まで。

■第23回東京YMCA会員芸術祭「オンライン芸術祭」を東京YMCA HP(9月30日まで公開中)42人の会員・関係者が参加63点のバラエティー豊かな作品が、出

展されています。

(担当主事・横山弥利)

編集後記

依然勢力が衰えないコロナ禍と酷暑に苛まれた今年の夏でしたが、5か月振りに例会を開くことが出来、クラブの皆さんには体調を崩した人はおられなかったようでご同慶の至りでした。

この過酷な時にも原稿を寄せて下さった方に感謝します。しかしちょっとしたトラブルのためブリテン発行が遅れましたことを申し訳なくお詫び申し上げます。(SK)



コスモスの花